

決算報告書

令和元年度 決算報告書

国立大学法人 旭川医科大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	5,327	5,432	104	(注1)
施設整備費補助金	574	585	10	(注2)
補助金等収入	140	138	△ 2	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	23	23	-	
自己収入	23,095	24,015	919	
授業料, 入学料及び検定料収入	665	648	△ 17	(注4)
附属病院収入	22,109	23,013	905	(注5)
雑収入	321	354	32	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	936	1,081	146	(注7)
引当金取崩	-	33	33	(注8)
長期借入金収入	948	838	△ 110	(注9)
前中期目標期間繰越積立金取崩	-	-	-	
目的積立金取崩	-	-	-	
計	31,043	32,145	1,102	
支出				
業務費	27,112	27,588	476	(注10)
教育研究経費	5,028	5,100	71	
診療経費	22,084	22,489	404	
施設整備費	1,545	1,446	△ 100	(注11)
補助金等	140	138	△ 2	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	936	934	△ 2	(注13)
長期借入金償還金	1,310	1,303	△ 7	(注14)
計	31,043	31,409	365	
収入－支出	-	736	736	

※端数処理の関係上、合計額が一致しない場合がある。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、退職手当支給が当初予定より多額であったこと等により、予算額に比して決算額が104百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、動物実験施設改修工事業を前年度から繰越したこと等により、予算額に比して決算額が10百万円多額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階で見込んでいた補助金が減額されたため、予算額に比して決算額が2百万円少額となっております。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、在籍者数が当初の見込みを下回ったことにより、予算額に比して決算額が17百万円少額となっております。
- (注5) 附属病院収入については、患者数の増加、高額な注射薬や内服薬を使用した治療の増加、手術件数の増加により、予算額に比して決算額が905百万円多額となっております。
- (注6) 雑収入については、科学研究費補助金間接経費の増及び学内駐車場収入の増等により、予算額に比して決算額が32百万円多額となっております。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入については、予算段階では予定していなかった国（各組織、特殊法人）及び民間からの受託研究等の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が146百万円多額となっております。
- (注8) 引当金取崩については、法人措置教職員の退職手当の支給に伴い、相当額について引当金を取り崩したことにより、予算額に比して決算額が33百万円多額となっております。
- (注9) 長期借入金収入については、当初計画よりも契約金額が下回ったことにより、予算額に比して決算額が110百万円少額となっております。
- (注10) 業務費については、退職手当支給の増、附属病院収入増加に伴う医薬品費及び材料費等の執行増、医療機器の更新により予算額に比して決算額が476百万円多額となっております。
- (注11) 施設整備費補助金については、（注2）及び（注9）と同様の理由により、予算額に比して決算額が100百万円少額となっております。
- (注12) 補助金等については、（注3）と同様の理由により、予算額に比して決算額が2百万円少額となっております。
- (注13) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、（注7）の理由により増加した一方、受託研究等の翌年度への繰延額が増加したことにより、予算額に比して決算額が2百万円少額となっております。
- (注14) 長期借入金償還金については、借入利率の見直しによる利息支出の減少のため、予算額に比して決算額が7百万円少額となっております。